

石油資源開発事業の取り組み

2009年12月17日
エネルギー一本部長
小林 中



本日の発表内容

1. 当社石油資源開発の現状
2. 当社石油資源開発の強み
3. 成長戦略

1. 当社石油資源開発の現状

■ 英領北海

- 1986年よりコアエリアとして取り組む。
- 2004年5月、在英事業会社Petro Summit Investment U.K. Ltd(PSIUK)設立。
- 2009年、B/Sマネジメントによる健全性強化を目的とした優良資産への積極的な資産の入れ替えを実施。
 - ・5月、Oranje Nassau Energie (ONE)を買収。
 - ・11月、PSIUKを売却。

■ ノルウェー領北海

- 2005年10月に大阪ガスサミットリソーシズ(株)を通じて、出光スノーレ石油開発(株)に間接出資。
現在、6油田から生産中。



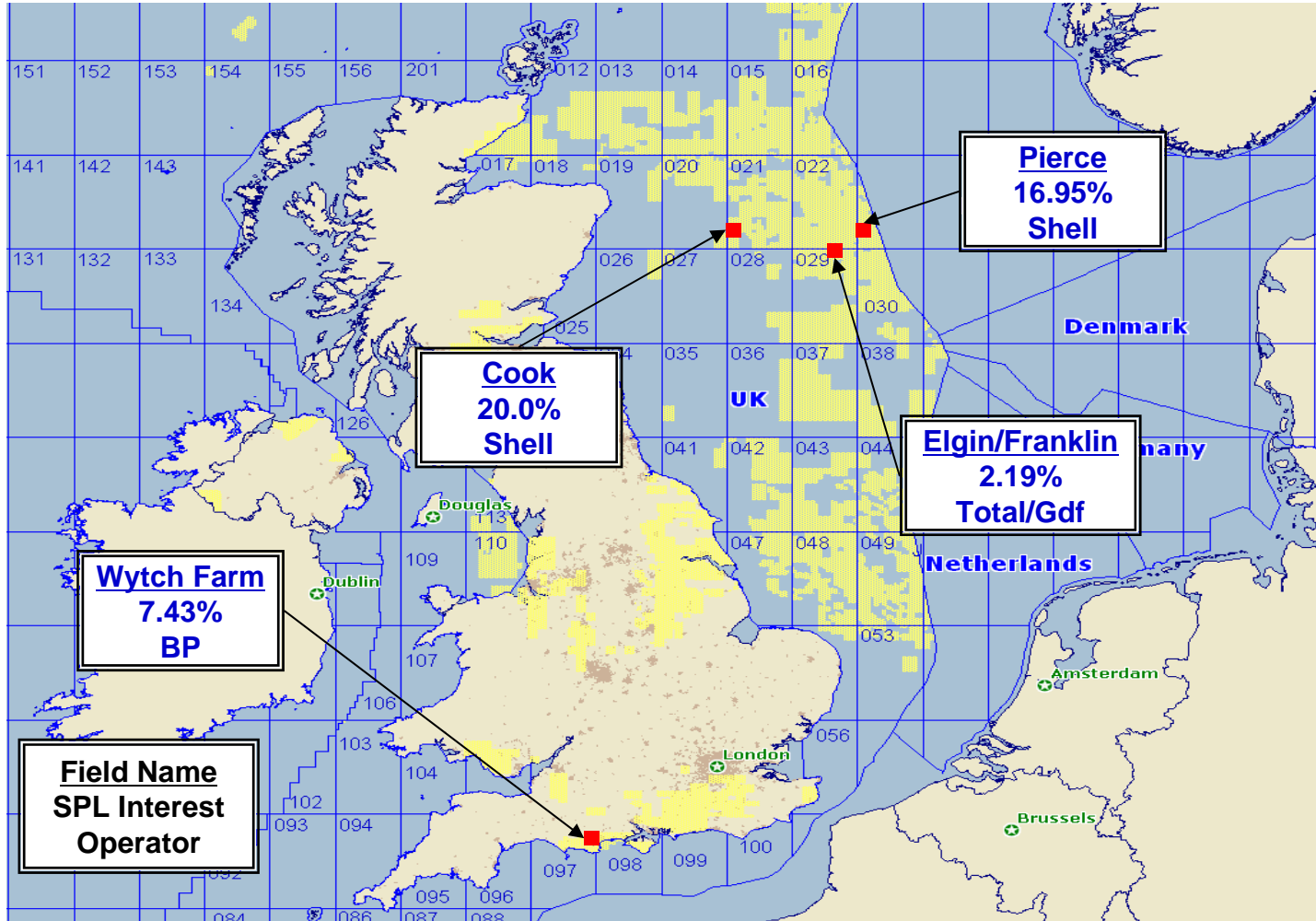
1. 当社石油資源開発の現状

-英領北海 (ONE買収)

- 2009年5月、DyasとAtlas2社とコンソーシアムを組み総額約850億円でONE (英領北海、蘭領北海、ガボンの資産を保有)を共同買収。
- 当社は英領北海の6鉱区を取得。
- 社名をSummit Petroleum Limited (SPL)に変更。
- 現在、4油田より生産中 (持分生産量約7,000BD)。

1. 当社石油資源開発の現状

-英領北海(ONE買収)



1. 当社石油資源開発の現状

-英領北海(ONE買収)



Elgin/Franklin
英領北海第3位の埋蔵量
を誇る油ガス田
(オペレーター: Total/Gdf)

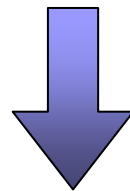


Wytch Farm
英国を代表する歴史ある
陸上油田
(オペレーター: BP)

1. 当社石油資源開発の現状

-英領北海 (PSIUK売却)

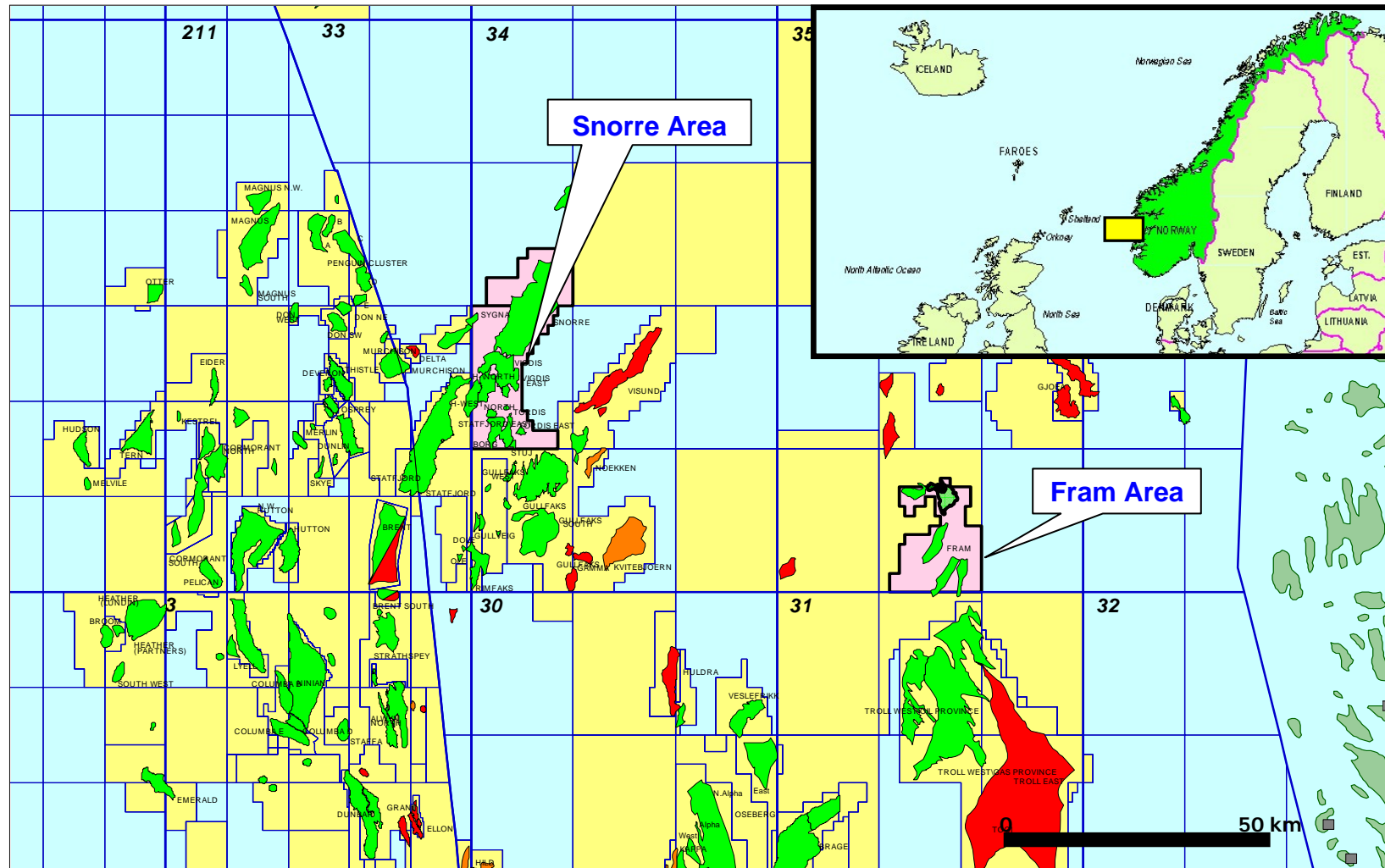
- 英領北海17ヶ所の鉱区でそれぞれ権益の一部を保有。
- 9つの油田にて生産中 (持分生産量約5,000BD)。



2009年11月、PSIUKの発行済み全株式を
出光興産株式会社に売却。

1. 当社石油資源開発の現状

-ノルウェー領北海



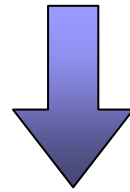


2. 当社石油資源開発の強み

- 北海エリアにおける知見の蓄積と高い技術評価能力。
 - 2008年3月、経験豊富な英国人技術者をCEOとして招聘。
 - 自社技術者の陣容拡充。

3. 成長戦略

探鉱・開発・生産各案件から成るバランスの取れた
資産ポートフォリオの構築。



埋蔵量・収益の持続的成長を目指す。

- (1) 英領北海 - コアエリアとして事業基盤の拡充。
- (2) 新規エリア - 次なる布石。

3. 成長戦略 -(1)英領北海

- 探鉱：新たに複数の探鉱を実施。
 - 25次入札：2008年応札の結果、2鉱区を落札。
うち1鉱区では探鉱オペレーター資格を
取得済。
 - Kinnoull：2008年に試掘井の掘削に成功。
現在、最終開発計画を策定中。

3. 成長戦略 -(1)英領北海

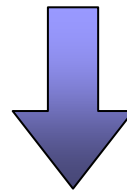
- ・開発・生産：戦略的意義のある新たな優良資産を発掘、獲得。

— 案件選定のクライテリア —

- ・既存保有鉱区の権益買増。
- ・既存保有油田への繋ぎ込みによる相乗効果が期待できる近隣油田。
- ・オペレーターの信頼性が高く、生産変動リスクの小さい中規模以上の油田。

3. 成長戦略 –(2)新規エリア

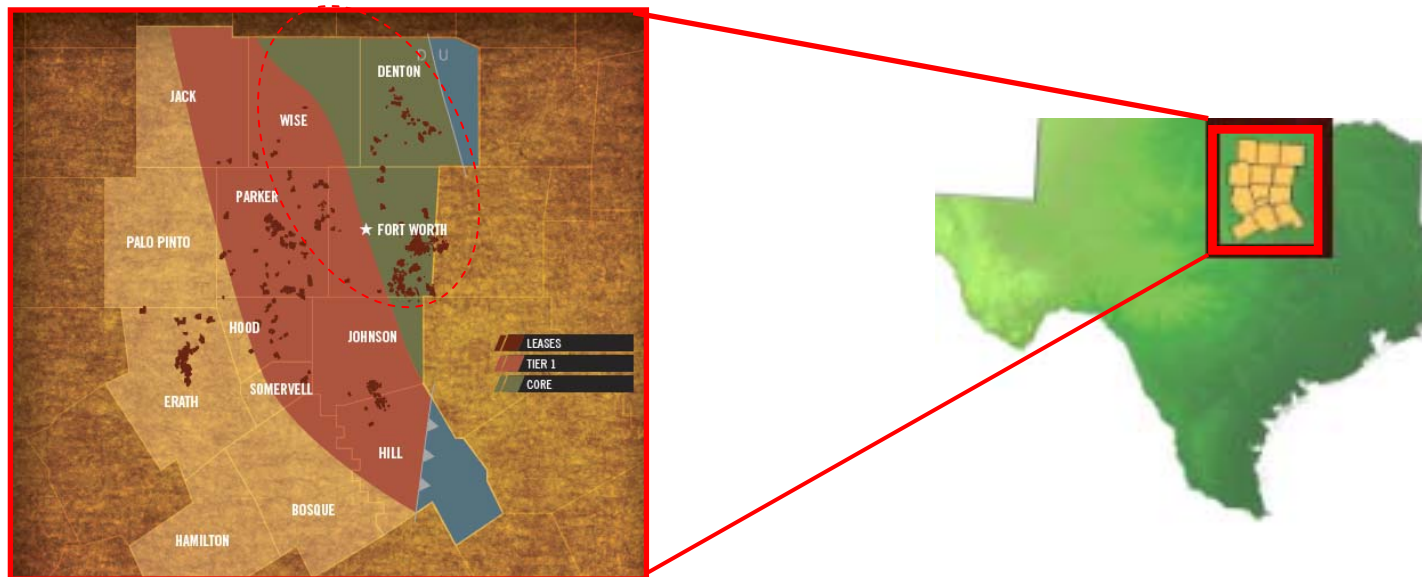
- ・ビジネス環境変化の先取り
- ・ガス(LNG)/原油トレードラインの事業展開



次なる成長エリアへの布石
～当社の強みを活かせる新たな重点地域への展開～

3. 成長戦略 –(2)新規エリア：北米

- 2009年12月、米国テキサス州におけるCarrizo社の天然ガスコアエリア開発プロジェクトへ参画。
- 当社の参画比率は12.5%。
- 日本企業として初のシェールガス開発への参画。





ご清聴ありがとうございました。